

単元名 わくわく 算数 学しゅう

配当時間 1 時間

単元の目標 (1) 言葉や計算棒・式を用いて考え、説明する仕方を理解し、説明することができる。
 (2) 言葉や計算棒などを用いて分かりやすく説明する方法を考え、順序立てて説明することができる。
 (3) 既習事項を使って問題を解決し、話し合い活動や発表に進んで取り組もうとする。

標準的な展開例

02040101_001

【準備等】計算棒

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 (2位数) ± (何十) の問題を解き、自分の考えを説明する。[上p. 6～p. 9] ○「みんなで考える問題」を読み、題意をつかむ。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★ $36+20$ の計算のしかたを考えよう。 ○立式の根拠を説明する。 ○2人のいちごの数の違いを求める問題に取り組む。 ○「練習問題」に取り組む。 ○p. 8・p. 9のノートのかき方の例を見ながら、今後の学習の進め方を確認する。	・計算棒を操作しながら、立式させる。 ・計算棒や式を示しながら説明させる。 ・ペア活動をするとうい。 ・ $30-20$ を先に計算するとよいことに気付かせる。 ・必要に応じて個別指導する。 ・日付を書く、間違えは消さずに赤で直す、気付いたことや自分の考えを書くなど、ノートのかき方を確認する。

【 備 考 】

本単元では、いちご狩りに来た2人が採ったいちごの数を求める式を考え、話し合いを通して、友達に伝えたり、友達の考えを理解したりすることを学習する。また、ノートのかき方や説明の仕方、振り返りの仕方など、算数科での学習の進め方を学ぶことで、今後の学習に生かし、思考力・表現力を高められるようにする。